

人的ネットワークの活性化について

1. 各研修における人的ネットワーク構築の
取組み状況
2. 人的ネットワークに関するアンケート
結果（速報）
3. 各研修における人的ネットワーク構築の
在り方検討

1. 各研修における人的ネットワーク構築の取組み状況

●有明の丘研修（第1期）における人的ネットワーク構築の取組み

内容	コース	詳細
オープニング交流会の実施	復旧・復興を除く8コース	LMSの受講開始後に任意参加のオープニング交流会を実施した。内閣府からの趣旨説明、コースコーディネーターからのコース概要説明、オンライン掲示板の利用方法説明を行った。
オンライン掲示板の設置	全コース	オンライン掲示板を設置し、講義内容の共有・相談や自己紹介をできるようにした。
研修会場での自己紹介や名刺交換の促し	全コース	研修開始前、休憩、研修修了後のタイミングで自己紹介や名刺交換を促した
演習班メンバーの入れ替え	人材育成	より多くの受講生と交流できるように、演習ごとに班のメンバーを入れ替えた
	総合監理	
実務・一般合同の演習の実施	被災者支援 復旧・復興	演習の一部で実務担当・一般管理の受講者が合流して検討する場面を設けた
質疑応答の実施	災害への備え	実務担当、一般管理合同で事前に受講生より募った質問に対して答える場を設けた。
	応急活動・ 資源管理	
自由交流会の実施	全コース	研修修了後に施設外の会場で任意参加の交流会を実施した

●地域研修における人的ネットワーク構築の取組み

地域研修においては、各地域共通で下記の取組みを実施する。

項目	リニューアル内容
名簿の共有	名前、所属、部署、役職、連絡先メールアドレス、研修参加に向けての一言が記載した名簿を受講者間で共有する。
名刺交換の促し	休憩時間やお昼休み等の空いた時間に近場の受講生と名刺交換をしていただくようアナウンス

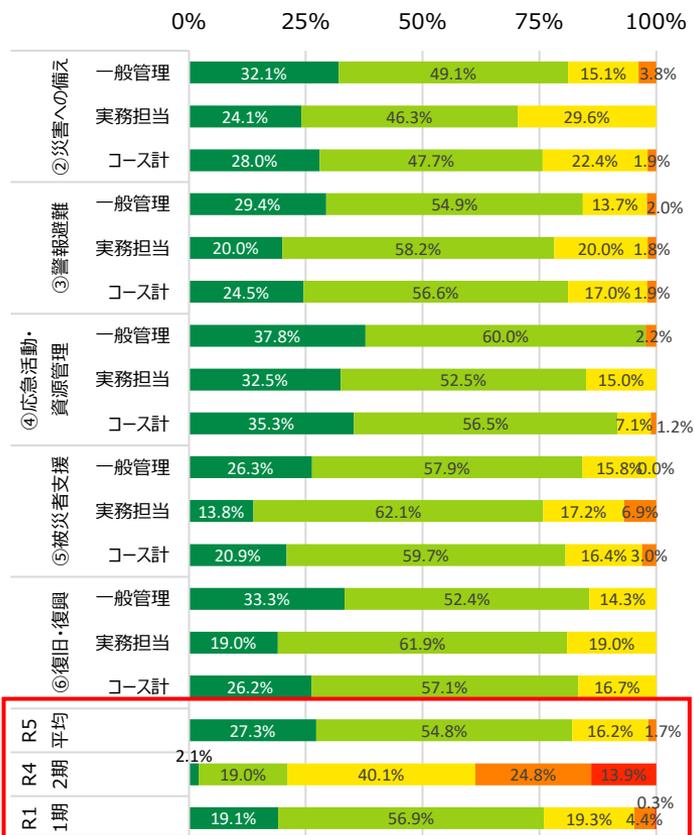
2. 人的ネットワークに関するアンケート結果 (速報)

資料1から再掲

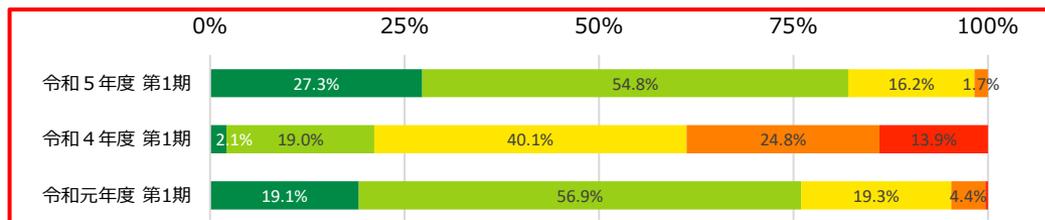
10月20日時点のアンケート結果 (②災害への備え～⑥復旧・復興が対象) から、職位別アンケートについての項目を集計した。 (最終的な集計は第4回検討会にて報告)。

Q 人的ネットワークを作ることができましたか？

➡ 結果：対面で実施していた令和元年度第1期とほぼ同じ水準まで結果が改善された。対面での実施の効果が大きく表れているものと考えられる。



これまでの実施状況との比較抜粋



● 改善に関する意見(自由回答記述より抜粋)

- より多くの意見交換の場・機会を設けて欲しい(12人)
- 研修後に交流できる(掲示板、SNS、メーリングリスト等)仕組みがあると良い(10人)
- 交流の場・機会を増やすため数日間の対面研修を実施して欲しい(7人)
- 研修後のフォローアップ研修を実施してはどうか(6人)
- 組織別(国、都道府県、市町村)での意見交換の場を設けてはどうか。(4人)
- 昼食時間を交流の時間(ランチミーティング、名刺交換等)に活用してはどうか(4人)
- 事前に自己紹介プロフィールを共有できるようにしてはどうか。(3人)
- 班メンバーを入替え、交流できる人を増やしてはどうか(2人)

■ 非常にそう思う ■ そう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

3. 各研修における人的ネットワーク構築の在り方検討

●これまでの検討会でのご意見

- 自治体間の交流だけでなく都道府県や指定公共機関等の別の立場の方と意見交換することで相互の理解を促進し、地域の多様な連携をもって支援・対応していくことを強調してはどうか。（第1回企画検討会）
- 日頃話することがない他組織の方と接する機会を設けることは非常に有効である。地域研修などに地方気象台、地方整備局、社会福祉協議会に参加いただくことを検討してはどうか。（第1回企画検討会）
- 他県の自治体、国、指定公共機関との交流には、異なる立場の人の価値観を知ることができるとのメリットがある。（第1回企画検討会）
- 災害時に**地域で連携すべき多様な主体が、研修の場で連携の機会を得られる**という地位研修の有効性や趣旨を明確にしてはどうか。（第2回企画検討会）
- 地域研修における人的ネットワークは、個人のネットワークだけでなく**組織間のネットワーク**があるのではないか。（第2回企画検討会）

➤ 対応：有明の丘研修・地域研修における人的交流の位置付け検討

- 有明の丘研修のリニューアルによって、取組みに変化が生じてきていることから、**有明の丘研修・地域研修のそれぞれにおける人的交流の位置づけの議論**が必要。

●各研修の位置づけ

これまでの研修の位置づけと企画検討会にていただいたご意見を踏まえ、有明の丘研修と地域研修の位置づけを次のとおり整理した。

研修		対象者	身につく能力	人的ネットワーク	効果
有明の丘研修	防災基礎コース	災害担当に配属された職員、新任職員 <small>【対象組織】 国、都道府県、市区町村、指定公共機関</small>	防災活動の前提となる基礎的な知識 <small>例) ハザード、防災行政、法体系、防災計画、警報避難、被災者支援等</small>	-	防災基礎能力のある職員を増やす <small>すそ野を広くする</small>
	5 災害対策コース	個別課題の対応に専門的に従事する職員 <small>【対象組織】 国、都道府県、市区町村、指定公共機関</small>	職位に応じた専門的な災害対応力 <ul style="list-style-type: none"> ・業務の理解（知識・技能） ・実施手順、態度の習得（マネジメント/オペレーション） 	同様の職位または専門分野の参加者同士での人的ネットワークの形成	一人一人の能力を高める <small>頂を高くする</small> リーダーの能力を高める <small>主峰を据える</small> <small>（個人間の人的ネットワークにより）</small> 災害対応時に助言等の支援が得られる
	4 組織運営コース	本部運営の中核的役割を担う職員 <small>【対象組織】 国、都道府県、市区町村、指定公共機関</small>			
地域研修		関係機関の職員（職位・経験に寄らず幅広く対象） <small>【対象組織】 国の出先機関、都道府県、市区町村、指定公共機関、指定地方公共機関、NPO、民間企業等 ※災害対応時に地域内で協力・連携が必要と判断した組織</small>	地域内の組織間の協力・連携した対応力 <ul style="list-style-type: none"> ・地域内で災害対応にあたる組織の役割・業務等の理解（知識） ・組織間の連携・調整方法の習得（技能） ・災害対応経験者の経験談による災害対応時の態度の習得 	地域内の組織間の協力・連携体制の確立・強化	地域内の組織間で協力・連携した災害対応の実施

●各研修における人的ネットワーク構築の特徴、課題、今後の方針

各研修における人的ネットワーク構築の特徴、課題、今後の方針を以下のとおり位置付け、具体的な取組み方策等を検討してはどうか。

■ 有明の丘研修

- | | |
|-----------|---|
| 特徴 | ・全国規模の、近い専門分野・職位の防災人材同士の人的ネットワークを形成できる |
| 課題 | ・研修終了後の人的ネットワークの維持、受講年度を超えた交流、人材活用ができていない |
| 方針 | ・研修後の人的交流の仕組みを検討し、構築する |

■ 地域研修

- | | |
|-----------|---|
| 特徴 | ・同じ（または近隣）地域のステークホルダーの個人／組織間ネットワークを形成できる |
| 課題 | ・組織間の連携促進は研修だけでは実現できない |
| 方針 | ・研修だけに留まらない、地域内の連携促進に向けた取組みの中に地域研修を位置付けて取り組んでいく |